

# NPO法人オンザロード 東日本大震災プロジェクト活動報告書

平成 23 年 8 月 1 日～ 8 月 8 日

## 【石巻市基本情報】

担当地域名：宮城県石巻市渡波地区、女川町周辺

避難者人数：石巻市 2,522 人 / 女川町 351 人

指定避難所数：石巻市 69 / 女川町 9

全壊家屋数+半壊家屋数：石巻市 22,603 / 女川町 3,296

ライフラインの復旧状況：石巻市内では電気、都市ガスは復旧、水道に関してはほぼ復旧しています。女川町では電気、水道はほぼ復旧、ガスは被害はなし。 8月12日宮城県調べ

## 現在の活動内容：



8月までの2週間で各班の方針が固まり、それぞれ8月末、9月末に向けての支援目標が定まってきました。流動的である災害支援活動の現場ということをふまえながらも、きっちりと目標に向かい、復興地の自立支援を行います。

## 各班の活動内容



### 片付け班

- ・延べ 384 人
- ・終了件数：7 件
- ・担当地区：石巻市渡波、湊、尾崎、洞源院、福島県金山町
- ・廃棄物回収量：390t / 総側溝長 1170m

7月末の大雨で水害がおこった福島県金山町に8月6日～8日の3日間、延べ104名が遠征いたしました。床上浸水した家屋からの家財道具を屋外に出し、ダンブへ積み込み、集積場への運搬、また家屋の泥出しが主な作業内容です。石巻市の災害支援活動で培ったノウハウを活かし、3日間で328tのガレキを撤去することができました。このように、東北地方で片付けの要請があればすぐに動ける体制を、第2期のオンザロード片付け班は確立していきたいと思えます。



### 漁業支援班

- ・延べ 4 人
- ・担当地区：石巻市塩富町、石巻漁港



市場で聞き込み作業を行いました。求めているのは漁師さんたちの活気とこのことで。旅行班、祭班などと連携し、石巻の漁師さんたちに活気を与えることができる仕組み作りを計画しています。また海苔の種付けに使う台を作る作業を手伝わせていただきました。1つの工場につき、100台は必要なのに現在まったく足りていない状況です。お盆前に、津波でへばりついてしまった海苔を加工に必要な機械から剥がす作業をし、海苔養殖の再生を目指します。







- ・延べ 219 人
- ・食事、洗濯、掃除、設備、物資管理、祭班準備、旅行班準備、災害対策本部担当

On The Road TV という Web 番組の第 1 回を 8 月 7 日に YOUTUBE にアップいたしました。

URL : <http://www.youtube.com/watch?NR=1&v=kb0agpe>

オンザロードがどのような活動を行っているのか石巻より最新の情報を伝えます。今回は川開き祭の様子、漁業再生班の活動紹介などを撮影致しました。これから 10 日に 1 回アップ予定ですのでよろしければご覧ください。

#### 今後の予定：

8 月 1 日に行われた川開きにオンザロード総出にて参加し、「復興瓦礫神輿」を演舞させていただきました。神輿によって元気をもらえたという住民の声の元、今後 8 月 9 日山形天童夏祭り、8 月 14 日サンファン渡波市民夏祭りなどで担ぎ、復興のパワーへとつなぎたいと考えます。またお盆の 8 月 13 日～ 16 日の間は、初盆である為（社）石巻災害復興支援協議会の方針の元、通常の片付けや仮設住宅介助などは行わず、祭をサポートし復興地を盛り上げる、旅行班のリハを行うなど通常とは異なる災害支援活動を行う予定です。

#### 課題、ミッション：

それぞれの班に 8 月からの動きについて提示を求めると片付け班の消耗品費、仮設住宅集会所の設備費、フリーペーパーの発行費、復興複合施設の家賃および建築費など様々な費用予算が上がってまいりました。これらの災害支援活動を行うために不必要な支出は抑えながらも、みなさまへの支援金のご協力が必須になります。ご協力のほどよろしくお願い致します。そして 3 週間が経ち、暑さと休む時間がない為に班長・副班長をはじめとした長期メンバーに疲労が目立ってきました。定期的に休めるシフトを組んで、体調を万全にしながら全力復興を行います。